

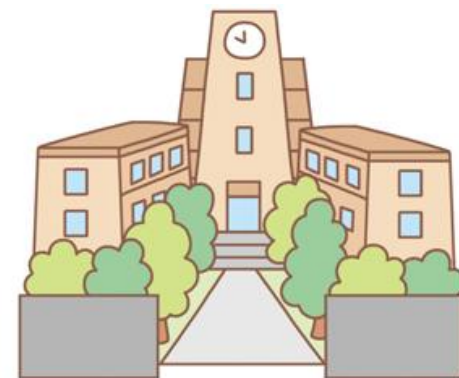
# 令和7年度 金沢西高校 2年保護者進路説明会 令和9年度入試に向けて



1

進路指導課 澤村 幸佑

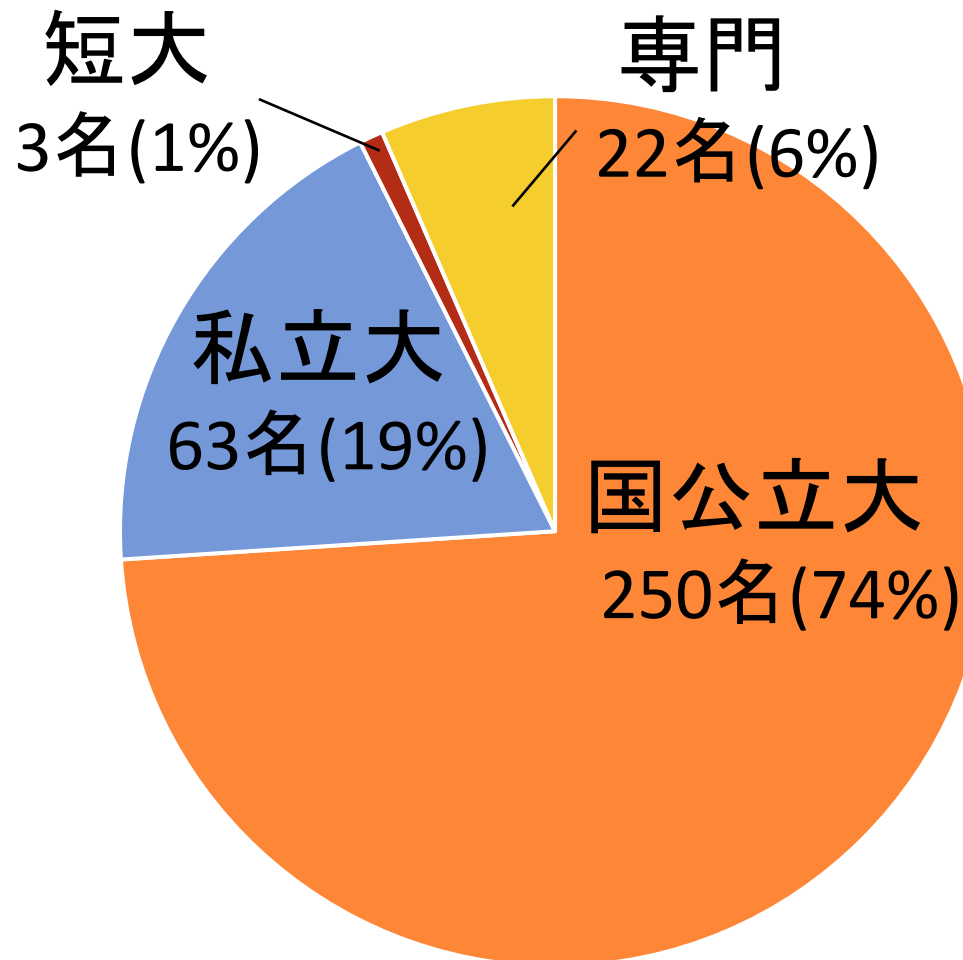
# 本日の内容



1. 西高生の進路状況について
2. 大学入試への流れ
3. 一般入試について ～国公立～
4. 一般入試について ～私立～
5. 推薦・総合型入試等について
6. 大学受験・進学にかかる諸費用など
7. まとめ

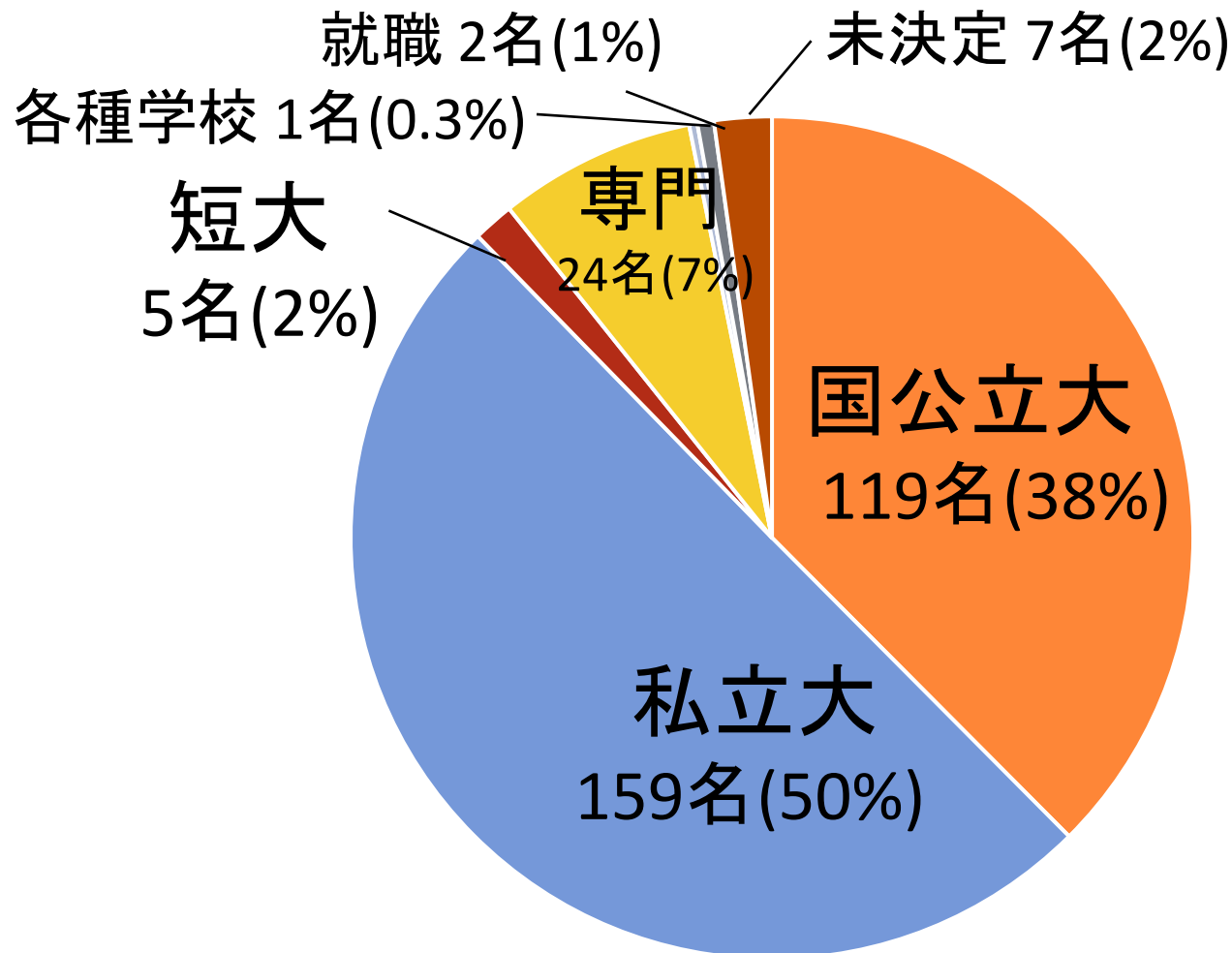
# 西高生2年生の進路志望

今年度2年生(338名)の進路志望



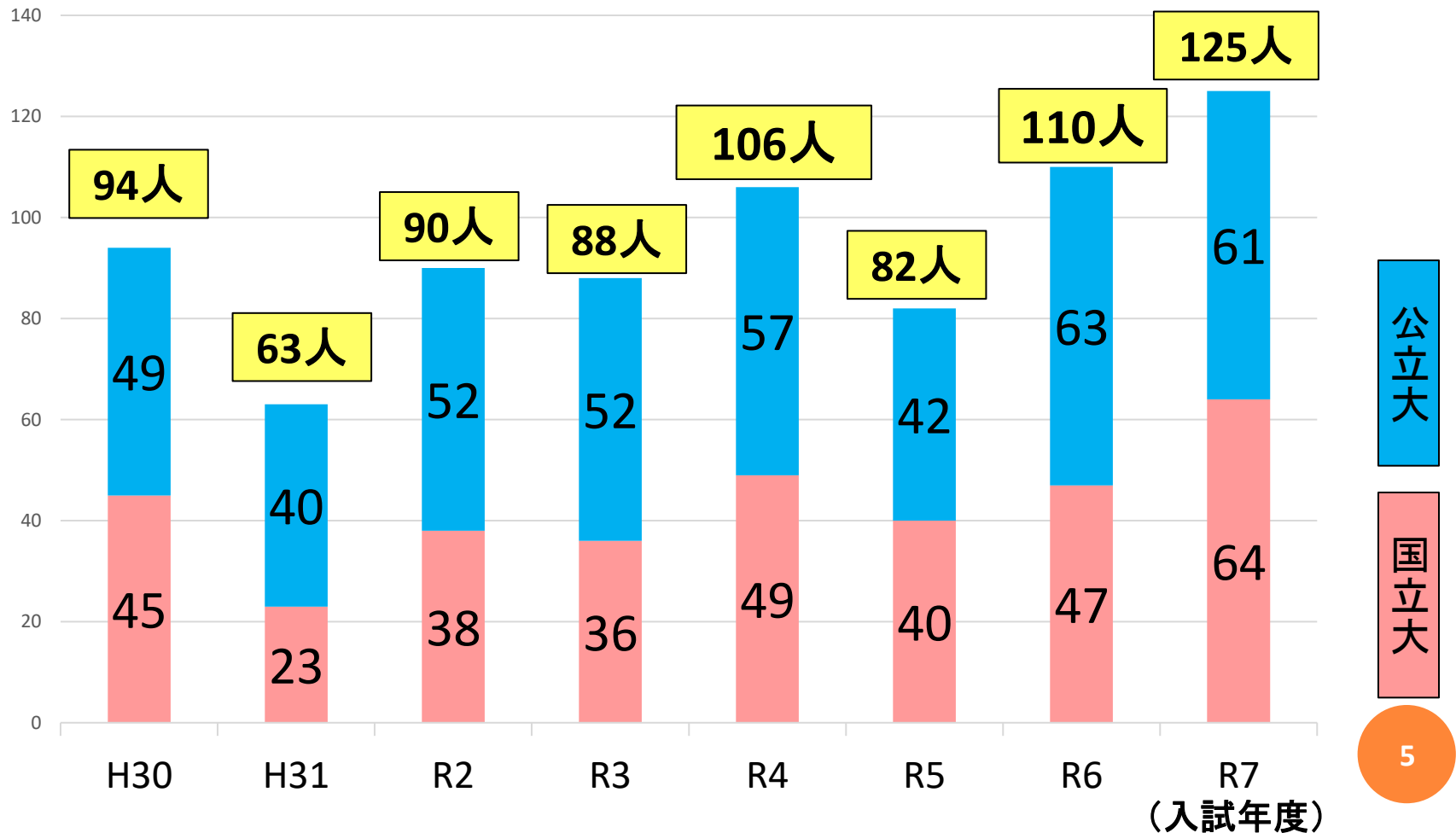
# 1. 西高生の進路状況①

令和7年3月卒業生(317名)の進路先



# 1. 西高生の進路状況②

## 国公立大学合格者数(浪人生含む)の推移



# 1. 西高生の進路状況③

	R7	R6	R5
金沢星稜大	270	210	173
金沢工業大	184	179	207
青山学院大	1	1	1
日本大	4	1	2
明治大	1	2	1
中央大	0	1	0
中京大	5	2	3
京都産業大	22	25	17
同志社大	3	1	2
立命館大	9	8	11
関西大	4	6	2
近畿大	4	12	17
関西外語大	2	3	7
私立大学計	702	634	691

国公立大学 別紙1

左図 私立大学  
※ 過去3年分の  
のべ合格者数

## 2. 大学入試への流れ

2年生秋・・・受験勉強のスタート

2年生冬～3年生1学期・・・学習の習慣化・基礎

夏休み・・・基礎力完成(特に国, 数, 英)

9月～・・・総合型選抜入試(自己推薦入試)

出願は9月以降(大学・短大・専門学校)

10～11月・・・学校推薦型入試(公募制, 指定校)

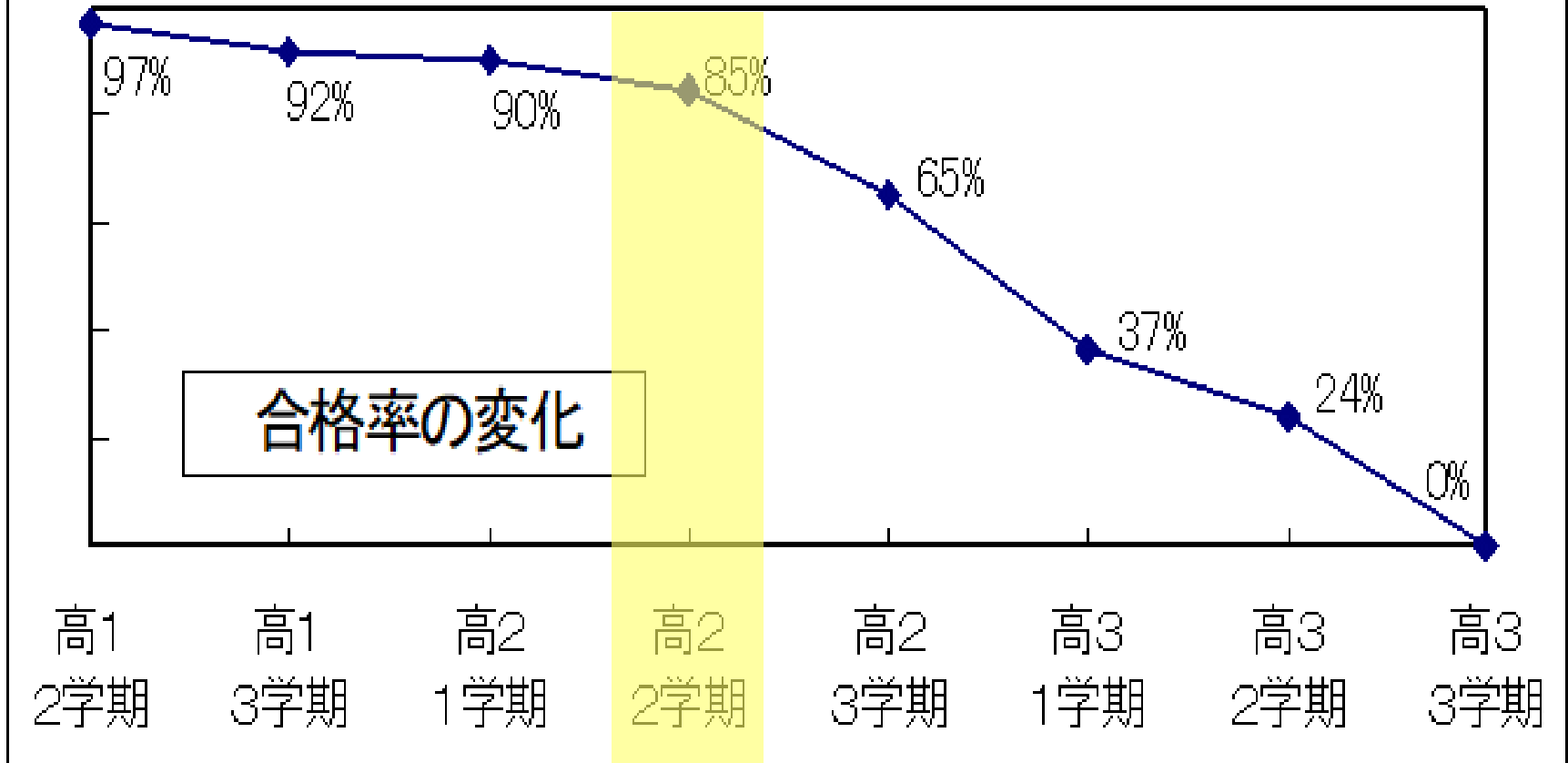
11～12月・・・共通テスト対策

1月16日(土), 17日(日) 大学入学共通テスト

1月～3月末・・・一般入試

## 2. 大学入試への流れ②

「大学入試を本格的に考えて取り組み始めたのはいつから？」





### 3. 一般入試について①

#### 国公立大学



①大学入学共通テスト(1月)

②2次試験(前期2/25～中期3/8～後期3/12～)

大学独自の学力試験(面接・小論・実技を含む)

の2段階選抜

#### 私立大学

①大学独自の学力試験

教科数や受験日程は多種にわたる。

### 3. 一般入試について②～国公立(1)～

#### 共通テストの基礎知識

- 全ての国公立大＋私立大の**90%**が参加
- 昨年の志願者：約49万5千人  
今年の志願者(10月3日時点)6700人増
- 現役高3生の45%が志願
- 西高：例年90%前後が受験  
(今年の3年生は335人)
- **6教科7科目型**の受験が主流



### 3. 一般入試について③～国公立(2)～

#### 2次試験の基礎知識

- ・ 共通テスト翌日に自己採点し、その結果をもとに出願校を決定。**前期・中期・後期同時**に出願
- ・ 前期に合格し入学手続きを行うと後期・中期は受けられない→ **本命校は前期で受験**が鉄則

### 3. 一般入試について③～国公立(3)～

#### 2次試験の基礎知識

## 最後まで諦めずに学び続け、 挑戦する者が勝利する

- ・昨年度、**15の大学で定員割れの学科**あり
- ・地方の国公立大学は定員割れの傾向増
- ・今年度、浪人生増 ⇔ **現役生減**
- ・**後期試験の欠席率は64%。上越教育大85%**  
**最後まで粘り強く頑張る**人には合格の可能性

## 4. 一般試験について④～私立(1)～

- ・ 大学ごとに**問題傾向・難易・形式が千差万別**  
**学校ごとの対策が必要**
- ・ 人気大学・学部は高倍率  
→ 1点のゾーンに100人以上も・・・
- ・ 高科目型の入試増えている。  
➡ **国公立合格を目指した学習**ができれば、  
中堅校以上の私大合格は十分可能
- ・ 英検利用を課す総合型や一般も増加  
➡ 早めに動いている者は合格の可能性増

## 4. 一般試験について⑤～私立(2)～

- ・大学志願者数が減少し、競争緩和へ。

大学数は飽和状態、53%の大学が定員割れ

- ・年内入試・共テ離れにより安全志向が進む。

本校生徒の入試において、

前半(総合・推薦,A日程)入試で合格が難しかった生徒が後半(中・後期、B・C日程)の入試で合格するケースが見られた。

➡諦めずに3月まで第1志望を追い求める。

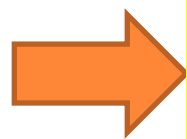
## 4. 一般入試について⑥

	国公立大学	私立大学
科目数	6教科入試が中心	2～3教科入試が中心
試験回数	共通テスト＋個別試験の2回	1回の試験で合否が決まる場合が大半(共通テストを課す大学も増えている)
受験可能数	受験のチャンスは「前期・(中期)・後期」の実質2回	受験校数に制限はない
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的学費が安い</li> <li>・教員一人当たりの学生数が少ない、科研費が多い＝より高いレベルの学問が可能</li> <li>・比較的倍率が低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目負担が少ない</li> <li>・学校、学部ごとの特色が強い</li> <li>・入試方式が多様で自分に合った入試が選べる</li> <li>・複数校受験ができる</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受験可能数が限られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学費が高い(特に医療、理系)</li> <li>・比較的高倍率</li> </ul>

## 5. 推薦・総合型入試等について①

- ・ **学校推薦型選抜**: 指定校、公募制に大別
- ・ **総合型選抜**: 能力、意欲、適性を多面的、総合的に評価・判定(得意の特化)

考え方



**第一志望合格のための一環**

- ・ 大学の示す条件(成績・資格・各種実績)と校内の条件を満たしている必要あり
  - ・ 複数出願は原則不可で**強い進学志望者**のみ
  - ・ 試験方法は様々(志望理由書・小論文・面接など)
- 学力試験を課す大学も増加。**



## 5. 推薦・総合型入試等について②

### 学校推薦型選抜：指定校、公募制

- ・大学の示す条件（成績・資格・各種実績）と

校内の条件を満たしている必要あり

学校生活全般：出欠・考査の成績・身だしなみ・活動

- ・志望理由書・小論文・面接・基礎学力試験など一般試験に比べると負担は減。共テを課すものもある。
  - ・1つ上の目指す国公立・私立大学にチャレンジできる可能性が高まる。
- 受験への準備が必要。不合格での挽回

## 6. 推薦・総合型入試等について③

### ・総合型選抜

- ・大学の示す条件も少なく、受験へのハードルは低い。
- ・自分をアピールor得意科目に特化した受験ができる。
- ・年内受験になり、早期に合格が決まる。

・1つ上の目指す国公立・私立大学にチャレンジできる可能性が高まる。

### ≠ おいしい受験方式

- 準備に負担はかかる。
- 私立：特待生制度の対象の入試ではない。

1つ上の目指す受験校へのチャンスが失われる。

## 6. 大学受験・進学にかかる諸費用等

- ベネッセが分かりやすい動画を挙げているのでご紹介します。



## 8. まとめ ～保護者へのお願い～

子供とのコミュニケーションの機会をできるだけ設けてください。

### ☆進路について

「任せてある」

➡「〇〇といっているので、応援する」

「石川県内で進学」

➡「〇〇県で〇〇の勉強をしたいと言っているができれば県内で」